

吸気系統清浄調整剤

高性能•省燃費•低公害 環境性能を支えるパーツのコンディショブ

アツブリ

排気煙 减少!

低臭性

吸気系統に付着した汚れを カンタンな作業で除去!

アクセルレスポンスの向上 アイドル不整の解消

走りながらエンジンの汚れを除去!

との併用で燃料系統の内部洗浄がおすすめ!!

不完全燃焼を防ぎ パワーを回復

アクセルレスポンス

失火を防ぎ 始動不良を改善 が向上

ノッキングを解消



V9352-0001



V9352-0200

(D_I) DRIVE JOY

エンジンコンディショナーラインナップ



キャブレター車用

気化器·燃焼室清浄調整剤

暖気後エンジンを停止し、エアエレメント を外すと見える、汚れたキャブレタを強力 な泡クリーナーで洗浄します あとはエンジンをかけながら注入してエン ジン内部まで洗浄しましょう。

V9350-0201



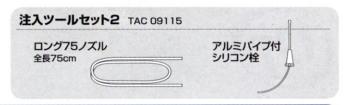
ディーゼル車用

燃焼室·吸気系統清浄調整剤

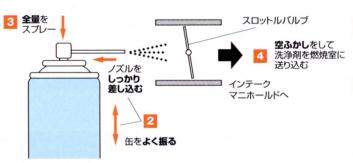
暖気後、インテークマニホールドからエア ダクトを外し、専用噴射ノズルを使って 1500~2000回転に保ちながら噴射します。 1本全量使いきって完了です。

V9350-0245





添付ノズルによる注入

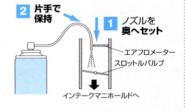


- 1 エンジンを5~6分間**アイドリング** して暖めた後、エンジンを止めて 下さい。
- 2 缶をよく振り、ノズルを噴射ボタン に**しっかり差し込んで**下さい。
- 3 スロットルボデーとエアダクトの連結部分をゆるめ、ノズルをスロットルバルブに向けてセットし、エンジンをかけ約3,000回転に保ちながら全量をスプレーして下さい。(但し、エンジンの型式によっては、ノズルのセット方法が異なる場合があります。)
- 4 空ふかしを数回行い吸気系統の 洗浄剤を燃焼室に送った後、 エンジンを止めてエアダクトなど を元に戻します。
- 5 再度アクセルを踏み込みながらエンジンをかけ、排煙がなくなるまで断続的に十分空ふかしをして下さい。
 (但し、極端な連続高速回転は避けて下さい。)
- **6** 必要に応じてアイドリング、排出 ガス調整などをして下さい。

ロングフ5ノズルによる注入

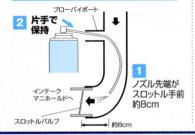
エアフロメーターがスロットル直前にある場合

- 1 エアフロにかからないよう、ノズル を奥へセットする。
- 先端が踊らないよう必ず片手で保 持しながら注入する。



ブローバイポートから 注入する場合

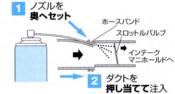
- 1 ノズル先端がスロットル手前約 8cmにセットする。
- **2** ノズルが抜けないように手で保持 しながら注入する。



エアダクトの隙間から 注入する場合

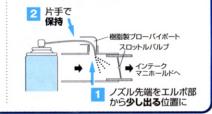
- 1 ダクトを凹ませてホースパンドの 間にノズルを固定する。
- **2** ダクトをスロットル開口部に押し 当てて注入する。

スロットルボデーが2基ある場合は半分づつ 順次行う。



ブローバイポートが エルボになっている場合

- 1 エルボ部分はノズルを捻じりなが ら入れる。ノズル先端がエルボか ら少し出るくらいにセットする。
- 2 ノズルが抜けないように手で保持 しながら注入する。



アルミパイプ付きシリコン栓による注入

●横向き噴射用のアルミバイブ付きシリコン栓です。噴射の方向は固定用バンドのカシメ 部分を目印にして下さい。

スロットル直前の

ブローバイポートから噴射する場合

ブローバイポートとスロットルボディーの間が10cm以下の場合はアルミバイブ付シリコン栓を使用した方が注入が楽です。

1 必ず噴射の方向を確認してから 注入する。



スロットルバタフライ真上の パージポートから注入する場合

1 アルミパイプを外してシリコン栓 のみで使用。



脱着清掃が必要な場合

●必ずノズルの先がスロットルボデーを向いていることを確認してから注入して下さい。

●ノズルの先端が踊って液が飛び散らないよう、必ず手で保持して下さい。

洗浄液を適量浸み込ませたウエスで スロットルボデーのカーボン等の 汚れを拭き取ります。

- 1 エンジンをかけながらの注入が困難な車両の場合
- 2 ターボ車などのスロットルボデー付近に適当な注入箇所が ない車両の場合
- 3 スロットルボデーの位置がエンジンの裏側にあるような 車両の場合

ロングフ5ノズル アルミバイブ付きシリコン栓 使用時の注意

●スロットルボデーがPCVホースの 接続部より上の位置にある場合は 液がエアクリーナー側に逆流する 恐れがあるので、この方法は使用し ないで下さい。

●ノズルはボタンにしっかり差し込ん で下さい。 注意事項 **1**

日産車及び、日産OEM車の電子制御スロットル車について

日産の電子制御式スロットルを清掃した場合、コンサルト(日産車専用の故障診断機)等によるアイドリング調整を行って下さい。

注意事項 **2**

スズキ車及びスズキOEM車のISCVについて

スズキ車、及びスズキOEM車のISCV内に入らないようにして下さい。 もし、液剤が入った場合は、ISCVのステッピングモータを取り外し、ISCV内に 液剤が残らないよう拭き取って下さい。 スズキ = ISCV付スロットルボディ装着車 日 産 = モコ (ISCV付スロットルボディ装着車) マツダ = キャロル、スクラム (ISCV付スロットルボディ装着車)